

領域	専門基礎分野	授業科目	薬理学 I	単位 (授業時間/時間数)	1 (14/15)
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業回数	7回
担当講師名	非常勤講師		講師所属		
特記事項	—			—	

授業のねらい

疾患の原因を除去するために薬は使用されるということ、また薬は身近なものであるという認識で薬について理解を深めてほしい。

授業目標

薬物作用機序及び薬物療法に対する看護の基礎が理解できる。

授業概要

1. 薬理学総論

- 1) 薬物治療の目ざすもの
- 2) 薬はどのように作用するのか
 - (1) 薬理作用の基本形式
 - (2) 薬の治療域と作用点
 - (3) 薬の投与経路
- 3) 薬はどのように体内をめぐっていくのか
 - (1) 吸収 (2) 分布 (3) 薬物の代謝
 - (4) 排泄 (5) 生物学的半減期 (6) 薬物の血中濃度と薬物血中濃度モニタリング
- 4) 薬効に影響する因子
- 5) 薬物中毒はなぜおこるのか
 - (1) 過量のおこる背景
 - (2) 薬物使用の有益性と有害性
 - (3) ある臓器に特有の有害作用おこす薬
 - (4) 実例にみる薬物中毒
- 6) 薬の管理と新薬誕生
 - (1) 管理に注意を要する医薬品
 - (2) 新薬の開発
 - (3) 医薬品情報の入手

授業の進め方

講義

教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進 [3] (医学書院)
今日の治療薬 2020 (南江堂)

参考図書

評価方法

終講時 客観式テスト (100点)

試験時間は時間数に含む。